



JWTC NEWSLETTER

Vol.30 No.2 August 2010

☆ディスティネーションセミナー☆

南アフリカ

サッカーワールドカップ2010南アフリカ大会の開幕を1週間後に控えた6月4日、ディスティネーションセミナーでは、南アフリカ観光局の近藤由佳氏を講師にお迎えし、同国の最新情報を旅行関係者の視点から熱く語っていただきました。

観光局には、世界が注目するスポーツの祭典が近づくにつれ、しばしば指摘される治安の問題や旅客の受け入れ態勢、交通網といった現地事情について、サッカーファンを中心にさまざまな問い合わせが殺到しているそうです。もちろん、従来型観光にも力を入れていて「自然と都市機能が融合した各都市をたっぷり満喫してほしい」と、基本情報からご説明いただきました。

日本の3.2倍の面積に人口は約4,700万人。ズールー語やアフリカンス語など公用語は11もありますが、やはり英語が確実に通用するそうです。また、南半球なので季節は日本と逆になります。

観光目的の1番人気はやはり「サファリツアー」。BIG 5と呼ばれるゾウ、ライオン、サイ、バッファロー、ヒョウという大型野生動物のほか、最近はペンギンを観察するボートトリップも人気です。旅行日数は8～10日（滞在5～7日）が最も多く、都市部でも公共交通機関がほとんどなく、タクシー移動がマストになることから、自由時間の少ないフルパッケージが主体だそうです。

近ごろは世界遺産8カ所を訪れるツアーも販売されていますが、ガイドのライセンスの問題（各州ごとに取得が必要）などもあり、全土に点在する見所をどうやってシームレスに周遊してもらうかといった今後の課題もあるそうです。デメリットも押さえながらの楽しいご説明に予定した1時間があっという間に過ぎました。



会員・ゲスト22名が参加しました



満開のジャカラダの花が咲く10月、プレトリア発の「ブルートレイン」に乗り、ホスピタリティーあふれる車内サービスを満喫し、キリッと冷えた白WINEを飲みつつケープタウンまでの車窓景色を楽しみたい。講演を拝聴してから、そんな思いを日々膨らませています。

*今回は4人のゲストの方々にご参加いただき、アフリカに関する興味深いコメントを頂戴することができました、誠にありがとうございました。

*講師の近藤様から、観光局提供のWINE（赤、白各10本）をいただき、懇親会で十分に堪能させていただきました。重ねてお礼申し上げます。

竹田久美子 (株)ホテルオークラ新潟 東京営業所

◆参加された皆様のご感想◆

●旅行会社に長年いながら、南アは遠い、知らない国でしたので、今日は大変勉強になりました。個人的には、ブルートレイン、ジャガラダ、そしてワインがイメージの国。もっと奥が深い国であることがよく分かりました。 西島羽 洋子

●とても分かりやすい説明でした。カテゴリー別の話、ツアーのヒントや時期・・・と期待以上の内容でした。機会を作って（あったら・・・ではなく）ぜひ訪れてみたいと思います。

梶原 眞理子

●南アフリカにはなかなか遠い国に行くことができないけれど、このようなセミナーで南アフリカを知ることができてよかった。

中村 豊美

●今まで10回以上南アフリカに行きましたが、最新の情報が知りたくて参加させていただきました。ありがとうございます。

(ビジター)

●今、話題の南アフリカの概要が知れて参考になりました。

(ビジター)



●親睦会●

初夏の房総を
満喫しました

梅雨の真っ最中にもかかわらず、晴れ女のパワー恐るべしで、今年も雨は降らず。はるばる名古屋から2名とビジターの方7名にもご参加いただいて、総勢26名の旅の始まりです。

大型貸切バスで朝の関東自動車道をすいすい快適に進み、佐原に到着。まずは伊能忠敬記念館に。地元の方々には親しみと尊敬の念を込めて忠敬のことを「ちゅうけいさん」と呼んでいるそうです。ランドサットから見た現代の日本と重ねてみる地図の精巧さにも驚きますが、50歳を過ぎてから測量の勉強を始めた、という点がさらに驚き。今の私と同じ歳で新たな挑戦を…（私もうかうかしてはいられない！）。地図の原本がこれほどきれいに保存されているという点も見所です。

次に町の真ん中を流れる細い小見川を、サッパ舟で悠々と往復。江戸時代に作られた石垣状の護岸と、そよかぜに揺れる柳の枝、岸辺に居並ぶ木造や土蔵の建物、名残の花菖蒲。橋の上には美女（私たち）を乗せた舟を撮影しようと大勢のカメラマンがずらり。と思ったら、水道橋の役目を果たしていた通称「じゃあじゃあ橋」からじゃあじゃああと水が出てく



るタイミングを待っていたのでした。

徒歩で自由散策。お醤油やごま油の買物派、きな粉味や芋味のアイスクリームを食べまくるおやつ派、共に楽しんで。

銚子へ移動して「いち山

いけす」の海の見えるお座敷で、豪華船盛りと煮魚をたっぷりいただきました。ここでビジターの皆様の自己紹介。「美女が大勢来る、というので参加しました」「僕も、美女が大勢来るというので参加しました」「自分も、美女が大勢、と聞いて参加しました」……ご期待にそえたかどうか。

ほどよく酔いが回ったところで、犬吠駅へ。ここで地元のボランティアガイドさんと合流です。「地球の丸く見える丘展望台」に登り、あれだけ食べた後なのに、売店で、地元産のメロンを目の前で搾った生ジュースに群がる美女たち。

続いて、垂直にそそり立った崖が何キロも続く屏風ヶ浦へ。のどかで平らなこの一帯も何億年もかけて隆起した土地だと伺い、展望台に続いて“地球”の壮大な歴史に思いを馳せる美女たち。さらに「犬岩」へ。義経が乗船して平泉へ逃れる際に置いていった犬が、義経を慕って吠え続けてついには岩になった…ちょっと苦しい伝説ですが、それが「犬吠」の地名のいわれ、というオチに「なるほど」と納得する美女たち。

ボランティアガイドさんともお別れし、懐かしい雰囲気の中、1両編成の銚子電鉄に乗車。

皆「ぬれせんべい」を買いまくり、銚子電鉄の売り上げに大きく貢献しました。最後は、閉店間際の市場「ウォッシュ21」で干物などのお買物を楽しんで帰路へ。

盛りだくさんに楽しんだ一日となりました。ご参加の皆様、ありがとうございました。来年の企画もご期待ください！

山科ひとり トップツアー



旅の仕事の面白さ

観光ジャーナリスト 千葉千枝子

「旅の世界に戻ってきました！」。そう挨拶したのは、処女作『悠々パース暮らし』（総合ユニコム・03年発行）を発表した出版記念会の冒頭のこと。それまで執筆経験のなかった私が、西オーストラリア・パースでの長期滞在術（ロングステイ）をテーマに、試行錯誤で一冊の本を著しました。著述業への転向の足がかりとなったこの本は、かつて旅行会社に勤務していた時代、お世話になった方々が応援してくださったことで世に出すことができた感謝に尽きる一冊です。

日本と世界を往き来する職業に、将来、就きたいと考えるようになったのは、今から25年前。大学2年の夏休みを利用して、米国カリフォルニア州オレンジ郡

での語学研修に参加したのがきっかけでした。初めての海外、憧れのアメリカへは当時、パンナム機で。当然ながら、生まれて初めての国際線利用でした。

帰国後、大学で国際経済ゼミの門戸を叩き、米国流通業をテーマに卒論を書きました。在学中を三越でアルバイトした私は、縁あって翌年、社員向けの米国視察研修旅行に参加させてもらうチャンスに恵まれます。しかし卒業を目前に、ひよんなことから就職部の推薦がぐだり、就いた職種は銀行員でした。雇用機会均等法施行後の初の大卒女子採用で、その一期生として富士銀行へ入行したのです。

当時はバブルの絶頂期でしたが女性総合職の職場進出は始まったばかりで、現

場ではさまざまな関心が寄せられました。やがて邦銀を去りシティバンクへ転職したとき、日本交通公社（現在のJTB）が大卒の中途採用を初公募するという新聞記事を目にしたのです。その当時の転職限界年齢といわれた、25歳の夏のことでした。

団体旅行の専門支店に配属された私は、法人グループ旅行の企画立案、営業、添乗までを任せられ、やりがいを感じていました。「天職にめぐり逢えた」とは、よく周辺に漏らしていた言葉です。旅は出会いと別れの繰り返しとよく言われますが、今でも往事、ご旅行にお連れしたお客様、関係先の皆様との交流が続いています。そして何より、商売の基本、営業におけ

JWTC30周年行事のご案内

運営委員会と30周年プロジェクトでは11月の30周年に向けて、会のテーマに「Next Door 2010 未来へつなごう 旅のしあわせ」を掲げ、大きな節目にふさわしい周年事業を計画しております。

記念講演会の講演者として、旅行業界の大先輩であり、またこの業界を牽引されている、株式会社ジェイティービー相談役の船山 龍二 様にお願ひしましたところ、快くお引き受けいただきました。私たちのテーマでもある「旅のしあわせ」について、船山様が長年培われた貴重なご経験をもとにお話しいたします。

会員の皆様には今からご予定していただき、ぜひご出席くださいますようお願いいたします。

JWTC会長 戸井川裕美子
30周年プロジェクト

日 時 2010年11月17日(水) 19時～

場 所 京王プラザホテル (新宿区西新宿)

プログラム ■ 記念講演会 19時～20時

テーマ 「旅のしあわせ」

講演者 船山 龍二 氏

株式会社ジェイティービー 相談役

■ 記念パーティー 20時～



会員の皆様には多くの方に協賛のご協力をいただき、心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

協 賛 金：一口 5,000円 (何口でも可)
銀行振り込みにてお願いいたします。

銀 行 名：三菱東京UFJ銀行 小岩支店

口座番号：普通口座 1772383

口 座 名：日本旅行業女性の会

会計担当 本多美知子 (ホンダミチコ)

■ 協賛ご協力者 (7月19日現在) ※敬称略

温かいご支援を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

4口：安西美津子

3口：戸井川裕美子

2口：西島羽洋子・有元 恵子・田辺 典子

1口：福田 和生・富井みち子・長野 久絵・岩井 良子
高林しおり・木下 弓子・早川ミチ子・佐々木みどり
伊崎留為子・田窪ふみ子・小峯 韶子・伊藤 聡子
山科ほとり・松本 絹代・寺嶋英理子・三好 一美

昨年度 245,000円 + 今年度 145,000円 <合計 390,000円>

る根性を叩き込まれました。

労働生産年齢の後半戦を、これまでの経験と知識を活かしてどのような生業でやっていこうか模索していたとき、旅の世界への復帰を決心しました。出産を機にJTBを退職し、異業種で有限会社を起こしてから数年間、二人の子どもを抱えながら辿りついた結論でした。エンジニアだった実父が、現役時代に修得した技術を活かして定年後も海外と行き来をしていたのを眺めながら、ロングステイを一つのテーマに深堀を始めました。それを端緒に、現在では旅と金融、ニューツーリズム、海外旅行の促進など、扱うテーマも広範に、さまざまな媒体を通じて表現の機会を得ています。

起業して15年、そして旅行会社に転じたあの夏から今年で20年を迎えます。一つ一つの過去の経験が、一本のあざなえる縄になったと実感できる現在の仕事に、喜びを感じています。それと同時に、旅の世界に従事する人たちの“懐の深さ”

を痛感する毎日にいます。旅は出会いと出会いの連続で、多様に富み、尽き果てることはありません。旅の職場は雑事が多く、細やかに気を遣うことでしょう。心身ともに疲れ、違う世界へ身を転じる人も多く見受けれます。そんなとき「旅の仕事は、いつでも戻ることができるから。そのときは『お帰りなさい』と言って心から歓迎します」と言葉をかけて、見送るようにしています。事実、私は舞い戻り、“終の棲家”と決めました。

「転がる石に苔はむさない」という故事が、欧米ではポジティブな解釈で用いられています。変化を恐れず、チャレンジを繰り返すことができる環境づくり、女性が活躍できる業界づくりが共通マインドとして受け継がれますよう、それを願ってJWTCに入会をしました。そして今後は、若手の育成や旅行業のさらなる発展に微力ながらも貢献できる、明日を叩くパイオニアであり続けたいと考えています。



取材先ではさまざまなことにチャレンジして、旅の魅力を発信しています
(ソウル市内の変身写真館「カフェ・ドラマ」で)

今回は、長野久絵さん(財団法人東京都公園協会)にバトンタッチしたいと思います。

☆☆☆名古屋支部便り☆☆☆

半田市・常滑市探訪

見どころたっぷり、充実の一日でした



行楽日和の4月24日、中部国際空港に程近い半田市・常滑市を訪れました。愛知県在住者にとっては近場のため、かえって初めての見学だった方もいらしたようです。

ジャンボタクシーを利用し、早速出かけた所は、知多半田駅より車で5分の【国盛酒の文化館】。約200年にわたって実際に酒造りが行われていた酒蔵を、そのまま博物館にしています。見学は予約制で所要45分。見学後は試飲・ショッピングタイム。

利き酒でテンションが少し上がったところで、徒歩5分ほどの【博物館酢の里】へ。「ミツカングループ」が創設した日本で唯一の酢の博物館です。こちらも予約制の見学、所要60分。中埜酒造とは兄弟関係で、創業者は造り酒屋から独立。当時、酒蔵で

出た安価な酒粕から酢を作り始め（エコですね）、今でも「山吹」という商品は、江戸時代に近い製法で製造しています（山吹は博物館酢の里および通販のみで販売）。「尾州早ずし」は山吹を使った郷土料理です。

「ミツカン」はポン酢に代表される全国区のメーカー。現在は全商品の7割が酢以外の製品です。納豆「金のつぶ」や「おむすびやま」などがあります。

いずれも入館料は無料。酢の里は帰りに黒酢ドリンクがいただけます。

小高い丘の上に立つ小さなフランス料理店「ピノ」で昼食後、常滑【せともの散歩道】を訪れました。ボランティアガイドさんの案内で約60分強。陶磁器会館、登



り窯、ギャラリー、ショッピング等、ゆっくりのんびり訪れたい町の一つです。

観光パンフレットに載っている「土管坂」には多くの人立ち止まり、写真を撮る姿が見受けられました。

6時間の日帰りコースを堪能し、名鉄常滑駅で解散しました。

鈴木恒子 (株)アドバンス

◆ 運営委員会だより ◆

□ 総務部 □

- 年会費全員納入済
- 協賛金：計29口 145,000円（7月19日現在）

□ 会員部 □

- 会員ハンドブックをニュースレター4月号に同封
- 6月26日の親睦会は26名参加

□ 事業部 □

- 第1回勉強会「アフリカセミナー」6月4日開催

□ 広報部 □

- ニュースレターを8月5日に発行予定。特に30周年行事をクローズアップ
- ホームページメンテナンス（30周年記念行事予告、各部紹介・部長の挨拶、勉強会）

□ その他 □

- 「モンゴルツアー」のお知らせをニュースレター4月号に同封
- 名古屋支部のイベントは、タイミングの関係で直接会員にアナウンス

□ 30周年プロジェクト □

- 告知の強化
ホームページ、ニュースレター8月号で大きく掲載
- 記念誌掲載内容について順次決定
- 掲載写真の選定
- ご招待リストの作成を各部に依頼

♪♪ JWTC 会員のための得々情報 ♪♪

= 黒糖コーヒーはダイエットに効果的 =

話題の本『1分背伸びダイエット』（佐藤万成著）に、「黒糖コーヒー」の効用が記載されています。

そこで今回は、JWTC会員の皆様に「本と黒糖のセット」（2,625円相当）をお試し価格（2,000円 送料込み）でご提供します。

- 内 容：本『1分間背伸びダイエット』
「恋丸」「玉砂糖」（宮崎商店の黒糖）
- 価 格：2,000円（税・送料込）
- 申込先：スタープランニング 星 恵美子
emi@star-pranning.com
TEL 03-3666-1177
- 振込先：◎ゆうちょ銀行（郵便局）
□ 座番号 10110-42394291
□ 座 名 (有)スタープランニング
◎三菱東京UFJ銀行 大伝馬町支店
□ 座番号 普通預金 1237093
□ 座 名 (有)スタープランニング

編集
後記

“2010FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会”日本は惜しくもベスト16で敗退しましたが、日本中が盛り上がりましたね。岡ちゃん（岡田監督）采配が功を奏し、見る人をワクワクさせてくれました。本田選手や長谷部選手、長友選手も素晴らしかったですが、なんと言っても人気急騰はキーパー川島選手ですね！そして選手より注目を集めたのがアルゼンチンの監督マラドーナ。名選手は名監督にはなれないと言いますが、マラドーナは規格外ですね。サッカーほど全世界が盛り上がるスポーツはありません。

サッカー最高です！と、JWTCとは関係のないことをやや興奮気味に綴ってしまいました。気を取り直しまして……30周年記念行事の日まであと4カ月となりました。準備も着々と進めていただいていることと思います。新参者の私も微力ですが何か出来ることがあればお手伝いしたいと思います。

(Y. M)